

しゅうれんかい（修練会）からのメッセージ

公益財団法人豊島修練会 2019年6月10日号（通算55号）

子どもたちへ（あかるく、げんきに、まえむきに）

学校で、先生から例えば「どのようにしたら解決できますか？」「どのように計画したらうまくいきますか？」「みんなに協力してもらうにはどうしたらよいでしょう。？」など、「考えること」を求められると思います。考えるとは、どのようにすることなのでしょう？ 説明するのは難しいですが、次のようにしてみてください。きっと、うまくいくと思います。

- ★今までしたこと、学習したことを思い出し、それを使ったり、組み合わせたりする。
- ★実験したり、試したり、図にかいたりして、いろいろやってみる。
- ★図鑑や参考書、ネットで調べたり、友達と協力したりして、解決してみる。
- ★自分の意見や考えを持つようにし、それから質問したり、教えてもらったりする。



大人の皆様へ（パパ&ママ、ジジ&ババ）



「自主性」が大事だと言います。前に、心理学の波多野完治先生から「自主性＝自発性＋主体性」と教えていただき、納得し、気に入っています。「自主性」とは「自分からすること」、「主体性」とは「自分ですること」ということです。

ですから、お手伝いでも、勉強でも、自分から取り組んでいたら大きく褒めてあげてください。自分でしていたら結果よりもそのことをほめてあげてください。自分から取り組み、自分の力で何とかやり遂げようとするのは素晴らしいことです。きっと、大人になっても、「自分からする」と「自分でする」は、自分の生き方を考える時、自分の人生を切り開いていくとき、大きな原動力になると思います。

学校の先生がたへ（息抜きに付き合ってください）

学校（先生）には、子どもの「学力」を向上させることが求められています。ところで「学力」の中身（構成要素）とはどのようなことでしょうか？

これまでは、「関心・意欲・態度」「思考・判断・表現」「技能」「知識・理解」でしたが、今度（新指導要録）から資質・能力の3つの柱（学校教育法第30条第2項、中教審答申平成28年12月）に対応して、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」に変わりました。そして、学習の仕方（指導の方法）としては、「主体的な学び」と「対話的な学び」と「深い学び」と、これらを統合した「主体的・対話的で深い学び」の実現が求められています。令和2年度からの授業に期待しています。（BOKE・HK）



★備考★[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」のほか「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」や「至楽荘」の利用の仕方、「成美教育文化会館」の会場貸出など様々な情報が閲覧できます。ご利用ください。

